

第 66 回南日本音楽コンクール課題曲一覧

ピアノ

予選

(中学生)

- J.S. バッハ作曲 15 のシンフォニアより任意の 1 曲
- ツェルニー作曲 40 番練習曲 Op.299、50 番練習曲 Op.740 より任意の 1 曲
※上記①②を演奏すること。演奏順序は自由とする。

(高校生)

- J.S. バッハ作曲「平均律クラヴィーア曲集第 1 巻、第 2 巻」より任意のフーガ 1 曲
- 次の作品から任意の 1 曲を選択すること
モシュコフスキー作曲「15 の練習曲 Op.72」
ショパン作曲「練習曲集 Op.10、Op.25」「3 つの新練習曲」(ただし Op.10-3,6、及び Op.25-7 は除く)
ドビュッシー作曲「12 の練習曲」
※上記①②を合わせて 7 分程度で演奏すること。演奏順序は自由とする。

(大学一般)

- J.S. バッハ作曲「平均律クラヴィーア曲集第 1 巻、第 2 巻」より任意の 1 曲 (プレリュードとフーガ)
- ショパン、リスト、ドビュッシー、スクリャービン、ラフマニノフ作曲の練習曲より任意の 1 曲 (ただしショパン作曲「3 つの新練習曲」を除く)
※上記①②を合わせて 9 分程度で演奏すること。演奏順序は自由とする。

本選

(中学生) 自由曲 10 分以内で演奏する。

(高校生) 自由曲 12 分以内で演奏する。

(大学一般) 自由曲 15 分以内で演奏する。

※作曲、編曲、改訂などをされて 50 年以上経過した作品とする。同一楽曲 (ソナタ、組曲、小品集、曲集など) からであれば、規定時間内に 1 曲ないしは複数曲や複数楽章を抜粋して演奏しても良い。ただし、変奏曲の抜粋は不可とする。予選と本選の曲を重複してはならない。

◆注意事項

曲の一部省略は予選、本選ともに不可。繰り返しは、予選は省略とし、本選は自由とする。

作曲

予選

譜面審査による。

- 1 人 1 作品とする。
- 共作は認めない。
- 演奏時間は小学生 5 分以内、中学生 7 分以内、高校生・大学一般 10 分以内とする。

本選

予選を通過した曲を演奏する。

◆注意事項 (以下の項目を遵守すること。遵守されない場合は失格となることもある)

- 作品は未発表のものに限り、演奏者は作曲家自身が準備する。
- 使用楽器は、ピアノ 1 台に限り主催者が準備するが、奏法に関する注意事項は全部門共通注意事項に準ずる。
- 楽譜は黒のペン書きまたはコピー (黒色) とする。浄書ソフトを用いてもよいが、プリントアウトしたものに限る。小学生に限り参考資料として CD 等による録音を添付することもできる。
- 表紙には楽器編成、曲名、作者名 (声楽曲のみ)、作曲者名、およその演奏時間を記入する。ただし、作者及び作曲者名は表紙以外の所には書かない。
- 声楽曲の場合は、詩のみの別書きを添える。
- 曲頭及び必要な箇所には必ずメトロノームによる速度記号を付けて、速さを指定する。
- 特殊な (一般的でない) 記譜については説明をつける。
- 舞台上で演奏される音は、すべて五線譜に記譜すること。なお、慣用の記譜法 (例; タブ譜、コードネーム、和楽器の数字譜等) による譜面をあわせて提出してもよい。
- いったん提出した作品について、申し込み締め切り後は加筆・訂正を一切認めない。

注意事項・全部門共通

- 規定の演奏時間を超過した場合は失格とする。
- 2 部門以上に参加することは差し支えないが、同一部門に重複して参加することはできない。
2 部門以上に参加する者は申込書の通信欄に記入する。
- 自由曲は予選と本選では別とする。
- 自由曲については、進行の都合上、正確な演奏所要時間を必ず申込書に記入する。
- 木管、金管、打楽器、弦楽、声楽で伴奏のある曲は、共演者 (伴奏はピアノに限る) を参加者自身が必ず同伴する。
- ピアノ 1 台は主催者で準備する。ただし楽器を損傷する恐れのある奏法は不可とする。その他の楽器については演奏者本人が準備する。
- 演奏はすべて暗譜とする。ただし本選のマルチパーカッション・作曲の演奏はこの限りでない。
- 集合時刻を決める抽選は、前もって南日本新聞社が審査員立ち合いで行う。
- 参加者は本・予選とも集合時刻通知書を持参のうえ指定の日時に会場受付に集合、係員の指示に従う。
- 申し込み後の曲目変更はできない。
- 舞台および舞台袖・舞台裏に出演者以外の入場はできない。

第 66 回南日本音楽コンクール

主催／南日本新聞社 特別協賛／人ふれあい、街いきいき。 かしん 鹿児島信用金庫 協賛／南日本新聞開発センター
協力／霧島国際音楽祭 鹿児島交響楽団

◆開催日時

予選 南日本新聞会館みなみホール
10月7日^土 ピアノ作曲 (譜面審査)、金管 10月8日^日 声楽、木管 10月9日^(月・祝) 弦楽、打楽器

本選 鹿児島市民文化ホール
11月3日^(金・祝) 作曲、金管 11月4日^土 弦楽、木管 11月5日^日 ピアノ、声楽、打楽器

グランプリ選考会・表彰式
12月3日^日 鹿児島市民文化ホール

◆参加資格

審査は部門ごと、小学生の部、中学生の部、高校生の部、大学一般の部に分け、それぞれ本・予選とも公開の演奏で行う。作曲の予選は譜面審査とする。予選により本選参加者を決定する。

◆表彰規定

部門ごとに優秀賞、入選者を選ぶ。グランプリは選考会 (優秀賞受賞者及び第 36 回南日本ジュニアピアノコンクール優秀賞受賞者の小学生の中から 1 名が出場) で決定する。

【グランプリ】奨学金 30 万円 【準グランプリ】鹿児島信用金庫賞 奨学金 10 万円

【優 秀 賞】南日本新聞開発センター賞 奨学金 3 万円

◎グランプリ受賞者に、第 39 回霧島国際音楽祭 (2018 年開催) のマスタークラス受講枠を提供します。
※受講に関しては、霧島国際音楽祭の募集要項に沿った手続きを別途お願いします。また、部門や楽器によっては受講枠を準備できない場合もあります。

◎優秀賞受賞者は、第 39 回霧島国際音楽祭 (2018 年開催) の聴講生として招待します。

※日程は霧島国際音楽祭事務局と協議のうえ決定いたします。

◎優秀賞受賞者の中から 1 ～ 2 名に、第 89 回鹿児島交響楽団定期演奏会 (2018 年 8 月開催。指揮者：海老原光) でオーケストラソリストとして出演する権利を授与します。

◆参加料

《予選》一部門につき、一人 10,000 円 《本選》一部門につき、一人 15,000 円
所定の申込書に記入 (特に出場部門、曲目は正確に記入) のうえ、予選参加料を添えて、8 月 25 日 (金) から 27 日 (日) < 各日午前 9 時 30 分から午後 5 時 > までに〒890-8603 鹿児島市与次郎 1-9-33 南日本新聞社事業部「南日本音楽コンクール」係まで申し込む。ただし、郵送の場合は参加料を入れた現金書留に返信用封筒 (82 円切手貼付宛名明記) を同封する。8 月 27 日付消印有効。
※個人情報適切に管理し、当コンクールの運営のみに使用します。

◆審査委員 (本選出場者全員に、審査員による感想・コメントをお渡しします)

【審査委員長】新村 元植 (鹿児島女子短期大学教授)

【木管部門】

フルート 浅生 典子 (鹿児島大学・鹿児島国際大学非常勤講師)
オーボエ 片倉 聖 (鹿児島国際大学・松陽高等学校非常勤講師)
クラリネット 中島 暢宏 (鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科非常勤講師)
ファゴット 久保由香理 (鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科非常勤講師)
サクソフォン 有村 純親 (東京芸術大学・昭和音楽大学・洗足学園音楽大学・尚美ミュージックカレッジ非常勤講師)

【金管部門】

トランペット 新村 元植 (鹿児島女子短期大学教授)
トランペット 堂園 和也 (鹿児島国際大学・松陽高等学校非常勤講師)
ホルン 山下美喜子 (鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科非常勤講師)
トロンボーン 外山 友美 (鹿児島国際大学・松陽高等学校非常勤講師)
ユーフォニアム 竹村由加里 (鹿児島国際大学・松陽高等学校非常勤講師)

【打楽器部門】

中間 貴子 (鹿児島大学教育学部音楽科非常勤講師)
上別府 宙 (鹿児島国際大学・松陽高等学校非常勤講師)
前田 均 (学校法人前田学園理事長・鹿屋中央高等学校校長)

【作曲部門】

伊地知元子 (松陽高等学校非常勤講師)
石田 匡志 (鹿児島大学教育学部音楽専修准教授)
井元 透馬 (上野学園大学・国立音楽大学附属高等学校非常勤講師)

【弦楽部門】

バイオリン・ビオラ 石井 宏明 (鹿児島大学非常勤講師)
バイオリン 佐々木実美 (フリーバイオリニスト)
バイオリン 田中 愛 (Cabrillo Stage 元コンサートミストレス)
チェロ 有村 航平 (鹿児島国際大学音楽学科非常勤講師)
チェロ 原田 哲男 (チェロ奏者)

【声楽部門】

大友 幸世 (声楽家)
片野坂栄子 (オペラ歌手)
篠原千鶴子 (声楽家)
下茂大二郎 (声楽家)
宮原 真紀 (松陽高等学校教諭)

【ピアノ部門】

中島 一光 (鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科教授)
大迫 貴 (鹿児島大学・鹿児島国際大学・松陽高等学校非常勤講師)

片野田郁子 (鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科非常勤講師・片野田音楽アカデミー代表)

堀之内喜忠 (鹿児島国際大学・松陽高等学校非常勤講師)

桃坂 寛子 (鹿児島国際大学・鹿児島女子短期大学・松陽高等学校非常勤講師)

◆問い合わせ 南日本新聞社事業部「南日本音楽コンクール」係 (電話 099-813-5053) 土・日・祝日は除く

第 66 回南日本音楽コンクール課題曲一覧

木　　管

予　選

2曲指定してある場合、どちらも演奏する。

(小 学 生)
フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン
(上記全楽器共通) 自由曲

フルート
(中 学 生)
E. ケーラー「35の練習曲 Op.33 第1巻」(CARL FISCHER 版) から No.10 モデラート
(高 校 生)
C. J. アンデルセン「24の練習曲 Op.21」(G.SCHIRMER 版) から No.19 アレグロ モルト
(大学一般)
N. パガニーニ「24の奇想曲 Op.1」(何版でも可) から No.24 TEMA Quasi Presto (テーマ前半部のみ繰り返しをする。バリエーションは前半、後半ともに繰り返し無し)

オーボエ
(中 学 生)
L. ヴィーデマン「45の練習曲」(何版でも可) から No.12 アレグレット
(高 校 生)
L. ヴィーデマン「45の練習曲」(何版でも可) から No.18 アレグレット ※繰り返し無し
(大学一般)
W. フェルリング「オーボエのための 48 の練習曲 作品 31」(全音楽譜出版社) から
No. 1 アダージョ コン エスプレッシオーネ
No. 2 モデラート リゾルート

クラリネット
(中 学 生)
C. ローズ「32の練習曲」(LEDUC 版) から No. 1 アンダンテ カンタービレ
(高 校 生)
C. ローズ「32の練習曲」(LEDUC 版) から No.26 アレグロ フリオーツ
(大学一般)
M. アーノルド「ファンタジー」(Faber 版)

ファゴット
(中 学 生)
J. バイセンボーン「バスーン練習曲 Op.8 第2巻」(PETERS 版) から No. 6 アレグレット グラツィオーソ
(高 校 生)
J. バイセンボーン「バスーン練習曲 Op.8 第2巻」(PETERS 版) から No.23 ポコ アダージョ (繰り返し無し。ダ・カーボ有り)
(大学一般)
L. ミルデ「50の演奏会用練習曲 Op.26 第1巻」(HOFMEISTER 版) から No. 7 プレスト

弦　　楽

予　選

バイオリン
(小 学 生)
ピバルディ作曲 バイオリン協奏曲 ト短調 第Ⅰ楽章
(中 学 生)
J.S. バッハ作曲 バイオリン協奏曲 第1番 イ短調 BWV1041 第Ⅰ楽章
(高 校 生)
モーツァルト作曲 バイオリン協奏曲 第4番 ニ長調 K.218 第Ⅰ楽章
※カデンツァは省略する。前・間・後奏は部分的に省略してもよい。
(大学一般)
J.S. バッハ作曲 無伴奏バイオリンのためのパルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006 より ガボットアンロンド
※繰り返しをする。

ビオラ
(各部共通)
エックレス作曲 ソナタ ト短調 第Ⅰ、Ⅱ楽章
※Ⅰ、Ⅱ楽章とも前半のみ繰り返しをする。

チェロ
(小 学 生)
ゴルトーマン作曲 コンチェルト 第4番 ト長調 第Ⅰ楽章

サクソフォン
(中 学 生)
G. ラクール「50のエチュード 第2巻」(BILLAUDOT 版) から No.43 アダージョ
(高 校 生)
W. フェルリング「48のエチュード」(LEDUC 版) から No.17 アダージョ カンタービレ
No.18 ヴィヴァーチュ
(大学一般)
W. フェルリング「48のエチュード」(LEDUC 版) から No.31 アダージョ ピエトーツ
No.32 アレグレット

金　　管

予　選

2曲指定してある場合、どちらも演奏する。

トランペット(小学生のみコルネットも可)
(小 学 生)
アーバン金管教則本 (ISM) (全音楽譜出版社) から No.19 (P.34)
(中 学 生)
アーバン金管教則本 (ISM) (全音楽譜出版社) から No.16 (P.33)
(高 校 生)
コブラッシュ 60のエチュード (ISE) (全音楽譜出版社) から No.16 (P.11) ※繰り返しはなし
(大学一般)
コブラッシュ 60のエチュード (ISE) (全音楽譜出版社) から No.19 (P.13) ※繰り返しはなし

ホルン
(小 学 生)
▷**アルトホルン**
アーバン金管教則本 (ISM) (全音楽譜出版社) から No.13 (P.32)

▷**フレンチホルン**
マキシム・アルフォンス「200のホルン練習曲第1巻」(LEDUC 版) から No. 3 モデラート
(中 学 生)
マキシム・アルフォンス「200のホルン練習曲第1巻」(LEDUC 版) から No. 1 アレグロ モデラート
No. 9 モデラート
(高 校 生)
コブラッシュ「60のエチュード」から No.10 アレグロ ヴィヴァーチュ ※繰り返しはなし
(大学一般)
コブラッシュ「60のエチュード」から No.15 アダージョ ※繰り返しはなし

トロンボーン
(小 学 生)
アーバン金管教則本 (カール・フィッシャー社版) から Studies in Dotted Eighth and Sixteenth Notes No.21

(中 学 生)
自由曲 (7分以内)
(高 校 生)
自由曲 (8分以内)
(大学一般)
自由曲 (10分以内)

コントラバス
(全部門共通) 自由曲

本　選

(全楽器・各部共通) 自由曲
15分以内で演奏する。ただし予選で演奏した曲は不可。

◆**注意事項**
①チューニングは演奏者本人が行う。(ピアノのピッチは442)
②前、間、後奏は部分的に省略してもよい。
③予選、本選ともに自由曲は楽譜を提出のこと。

(中 学 生)
アーバン金管教則本 (カール・フィッシャー社版) から Syncopation No.12
(高 校 生)
▷**テナー**
J. ロッシユ編 ボルドーニのヴォカリーズに基づくトロンボーンの為の旋律的な練習曲集第1巻 (カール・フィッシャー社版) から No.11 アレグロ モデラート

▷**バス**
A. オストランダー編 ボルドーニのヴォカリーズに基づくバストロンボーンの為の旋律的な練習曲集 (カール・フィッシャー社版) から No. 9 アレグロ モデラート

(大学一般)
▷**テナー**
J. ロッシユ編 ボルドーニのヴォカリーズに基づくトロンボーンの為の旋律的な練習曲集第1巻 (カール・フィッシャー社版) から No.17 アレグロ

▷**バス**
A. オストランダー編 ボルドーニのヴォカリーズに基づくバストロンボーンの為の旋律的な練習曲集 (カール・フィッシャー社版) から No.23 アレグレット

ユーフォニアム
(小 学 生)
アーバン金管教則本 (トロンボーン) (カール・フィッシャー社版) から Syncopation No. 1
(中 学 生)
アーバン金管教則本 (トロンボーン) (カール・フィッシャー社版) から No.12 Variations on a theme from Norma より Theme Moderato
(高 校 生)
J. ロッシユ編 ボルドーニのヴォカリーズによる旋律的な練習曲集 第1巻 (カール・フィッシャー社版) から No.13 アンダンテ カンタービレ
(大学一般)
J. ロッシユ編 ボルドーニのヴォカリーズによる旋律的な練習曲集 第1巻 (カール・フィッシャー社版) から No.29 アンダンテ カンタービレ

チューバ
(小 学 生)
アーバン金管教則本 (トロンボーン) (カール・フィッシャー社版) から Syncopation No.1
※1オクターブ下げて演奏してもよい

(中 学 生)
アーバン金管教則本 (トロンボーン) (カール・フィッシャー社版) から No. 5 The Beautiful snow より Theme ※繰り返しなし。裝飾音符は省略可。1オクターブ下げて演奏してもよい
(高 校 生)
M. ボルドーニ テューバのためのベルカント練習曲から ※どちらの出版社でも可。
(ロバート・キング社版) から No. 1 アンダンテ カンタービレ (Encore Music 版) から No. 4 アンダンテ カンタービレ

声　　楽

予　選

(中 学 生)
自由曲 (中学校教科書の歌曲程度) 1曲を任意に選び、4分以内で歌う。
(高 校 生)
芸術的歌曲 (日本歌曲、ドイツ歌曲、イタリア歌曲、フランス歌曲など) 1曲を任意に選び、5分以内で歌う。
(大学一般)
歌曲または、オペラ (オラトリオでもよい) のアリア1曲を任意に選び5分以内で歌う。

本　選

(中 学 生)
自由曲1曲を5分以内で歌う。
(高 校 生)
歌曲またはアリアを1曲5分以内で歌う。
(大学一般)
歌曲とアリアそれぞれ1曲、計2曲を10分以内で歌う (曲間の途中退出は不可)

◆**注意事項**
予選・本選を通じて指定された課題曲はないが、次の点に注意する。
①本選は予選の曲以外とする。
②歌う曲名と作曲者名を予選・本選とも申込用紙に日本語と原語で必ず記入する。
③アリアの場合は、慣習的に移調してもよいことになっている曲以外は、すべて原調とする。
④歌曲は移調してもよい。
⑤歌詞はすべて原語 (慣習的に原語以外で歌われることもある曲はその限りでない。中学生は日本語でもよい)。
⑥時間の都合によっては、アリア、歌曲とも一部を省略して歌ってもよい。

(大学一般)
M. ボルドーニ テューバのためのベルカント練習曲から ※どちらの出版社でも可。
(ロバート・キング社版) から No.15 アンダンティーノ (Encore Music 版) から No.19 アンダンティーノ

打　楽　器

予　選

①・②のいずれかを演奏する。
主催者は予選で演奏するマリンバ (ヤマハ製 YM-5100A) を準備するが、演奏者は自分の楽器を使用することもできる。ただし演奏者の楽器を使用する場合は、搬入・搬出・組み立てを全て演奏者の責任において行うこと。

(小 学 生)
①網代景介／岡田知之著「小太鼓 100 曲集」から 13 番 (P.16)
② M. ゴールデンベルグ著「シロフォン、マリンバ、ヴィブラフォンの為のモダンスクール (旧 HAL LEONARD 版、または Alfred 版)」から 3 番アレグロ (P.28)

(中 学 生)
①網代景介／岡田知之著「小太鼓 100 曲集」から 24 番 (P.29)
② M. ゴールデンベルグ著「シロフォン、マリンバ、ヴィブラフォンの為のモダンスクール (旧 HAL LEONARD 版、または Alfred 版)」から 7 番アレグロ (P.66)

(高 校 生)
① A.J. シローン著「ポートレート イン リズム」から 31 番 (P.33)
② M. ゴールデンベルグ著「シロフォン、マリンバ、ヴィブラフォンの為のモダンスクール (旧 HAL LEONARD 版、または Alfred 版)」から 15 番 (P.73)

(大学一般)
① A.J. シローン著「ポートレート イン リズム」から 35 番 (P.38)
② S. フィンク作曲 Etudes de Lux

◇木管・金管・打楽器の予選に共通◇

◆**注意事項**
①自由曲については練習曲でも可。
②伴奏はピアノのみ可。前、間、後奏は省略してもよい。
③ポピュラー等は不可。

木管・金管・打楽器

本　選

(小 学 生) 自由曲1曲 5分以内で演奏する。
(中 学 生) 自由曲1曲 3分以上8分以内で演奏する。
(高 校 生) 自由曲1曲 4分以上13分以内で演奏する。
(大学一般) 自由曲2曲以内 15分以内で演奏する。